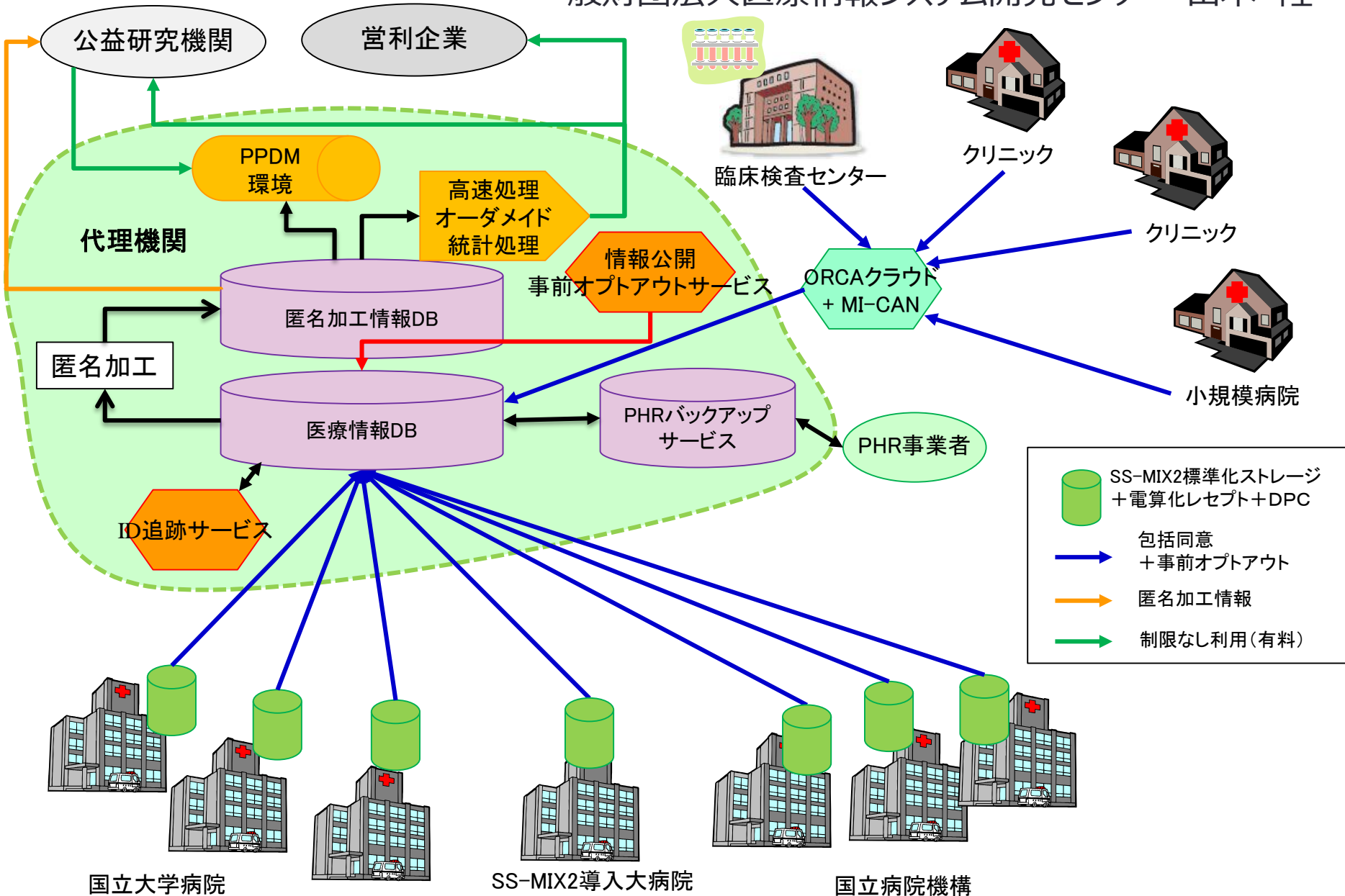


SS-MIX2を基礎とし、代理機関を前提とした大規模診療データの収集と利活用システム概要

一般財団法人医療情報システム開発センター 山本 隆一



本システム構想の特徴

1. 十分な実施体制を想定している。
 1. 一般財団法人 医療情報システム開発センター
 2. 国立大学法人東京大学喜連川研、東大病院
 3. 国立大学法人九州大学病院
 4. 独立行政法人国立病院機構
 5. 公益財団法人日本医師会総合政策研究機構
 6. 一般社団法人NationalClinicalDatabase
2. すでに800病院以上に普及したSS-MIX2ベースで現実的で確実に成果が得られること。
3. 高速に処理できることで、短期に大量の成果を得る素地を確立できること。
4. 15000ユーザが用いている診療所向けレセコンORCAと組み入れることで、大病院だけでなく小規模医療機関のデータも扱いうること。
5. 同意ベースでデータ利活用を進める基盤であるが、包括同意 (Broad consent) + opt outの枠組みを確立することをテーマの一つとしていること。
6. 医療等IDの整備に対応する予定であること。
7. 医療情報に精通したData Scientistの養成も目的の一つであること。
8. 明確な出口戦略があること。代理機関の運営体制: 一般社団法人の設立を想定。